

平成 21 年 9 月 16 日

島本町長

川 口 裕 様

島本町総合計画審議会

会長 榊 原 和 彦

#### 第四次島本町総合計画基本構想について(答申)

平成 21 年 1 月 28 日付け島政政第 771 号で諮問のあった第四次島本町総合計画基本構想(案)について、慎重に審議を重ねた結果、概ねその内容を妥当なもの認め、別紙のとおり意見を付すとともに、基本構想(修正案)を添えて答申する。

なお、総合計画の実施にあたっては、本審議会の意見を尊重するとともに、住民との協働のもとで、着実な実現に努められるよう要望する。

## <別紙> 付帯意見

1. 本町の特性であり、貴重な財産である自然環境を後世に引き継いでいくことが私たちに課せられた責務であると同時に、その活用を図り、より快適な住民生活の実現に努める必要がある。本構想を具体化するには、以下の点に留意されたい。
  - (1) 水無瀬川について、水辺環境や水生生物などの保全に配慮するとともに、防災対策の推進に努められたい。
  - (2) 森林について、その公益的かつ多面的な機能の重要性と、林業従事者の高齢化や担い手不足などの課題を十分踏まえ、森林の保全と活用に努められたい。
2. まちの活性化を図るため、本構想を具体化するには、以下の点に留意されたい。
  - (1) 阪急水無瀬駅とJR島本駅の2つの駅が町内に立地する利便性の良さを活用し、両駅周辺をまちの中心として、中心市街地の整備や商業振興などに努められたい。
  - (2) 本町の自然環境や歴史・文化などを生かし、まちのPRや活性化を図るため、観光面の取り組みの推進に努められたい。
  - (3) 都市計画の見直しや、公園・道路などの整備にあたっては、現状のさまざまな課題や問題点を整理し、「安全・安心なまちづくり」の推進に努められたい。
3. 子どもを狙った犯罪の増加や、高度情報化社会が子どもに与える影響などに留意し、「子どもの安全・安心」について、さらなる施策の推進に努められたい。
4. 団塊世代の大量退職などを踏まえ、生きがいをもって暮らし、地域社会にその経験や知識を生かすことができる環境づくりに努められたい。
5. 将来人口の目標達成に向けて、都市基盤や生活環境の整備とともに、子育て支援・教育の充実をはじめ安心して住み続けたいと思えるソフト面の取り組みの推進に努められたい。また、住宅地の整備にあたっては、周辺環境との調和や防災面に配慮するとともに、既成市街地の活性化にも努められたい。
6. 厳しい経済・雇用情勢や財政状況を踏まえ、住民との協働のもと、創意と工夫による行財政運営を推進し、さらなる住民福祉の向上とまちの発展に努められたい。本構想を具体化するには、以下の点に留意されたい。
  - (1) 平成20年6月に実施された「新総合計画策定に関する住民アンケート調査」結果を、各施策へ反映するよう努められたい。
  - (2) 厳しい今後の財政収支見通しを踏まえ、効率的かつ効果的な行財政運営をめざした計画の立案に努められたい。
  - (3) 基本計画及び実施計画の策定にあたっては、第三次総合計画及びその他の計画の実績・進捗状況や、各分野の統計データなどの分析結果を十分踏まえ、実効性のある計画の立案に努められたい。